

若年層に対する新たな取組に向けた提案等について

関係機関・団体名	提案内容
明石市薬剤師会	<p>【他機関への期待】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明石市薬剤師会認定ゲートキーパー制度について、各機関でのご理解と、制度浸透に向けてのご協力（各機関へのリーフレットの設置など） <p>【新しい取組の提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSでネガティブワード（死にたい、消えたい、つらい）を発言する明石市民へのコンタクト ・コロナ禍でも安心して参加できるZoomを用いた子育て相談会の開催
あかし若者サポートステーション	<p>若年者の自殺の原因は、突発的なのでしょうか。日々の暮らしの中で、その原因は様々ですが、孤独感、無気力感や絶望感が蓄積しての行動であるような気がします。誰にも悩みを打ち明ける勇気もなく、その連絡先すら身近でないような気がします。</p> <p>もし、勇気をもって「相談」、と行動する意識が芽生えたとき、相談できる窓口の周知が重要だと思います。周知の方法ですが、突飛かもしれませんが、目につきやすいロードサイド数か所に、相談窓口の連絡先を掲示した看板の設置はいかがでしょうか。「命を大切に」という想いを、ハートマークに「一人で悩まないで」などの文言が目につくようにデザインします。また、5年ほど前、イギリスで「私はあなたの協力者です」を示す安全ピンを身に付ける行動が話題となりました。市民が問題意識を共有することが大切だと思います。</p> <p>新しい取組みではありませんが「SOSを如何に受け止めるか」が重要だと感じます。</p>
明石市社会福祉協議会	<p>相談先やお困りごとの事例を掲載したポケットティッシュを作成し、マンガ喫茶やカラオケ喫茶等に配布してもらったり、教育委員会を通じて学校現場(含:フリースクール)、スクールカウンセラーから学校生徒に配布してもらう。</p>
明石市民生児童委員協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや若い世代が不安な気持ちを発信しやすいように、様々な機関が発信をキャッチできる仕組み作りが必要である。SNS等を活用し、子ども達の声を拾い、支援につなげていく必要がある。 ・個別ケースにおける他機関連携が必要。子どもの自殺の原因は様々であるため、複数の機関のネットワーク(自殺対策の個別のケース会議など)の構築が必要。 ・子ども達のSOSの出し方について、学校の教育活動の場で専門職(保健師等)から教育する。
明石市連合PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業の一環として、保護者と子ども達が一緒になって自殺や命の重さを考える機会の提供。
明石市中学校長会	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒や保護者のストレス・不安を解消することが、自殺防止にも大変有効であると考えている。現在、県費のSCがすべての中学校に週1日、小学校に月1日のペースで派遣されているが、児童生徒及び保護者が抱える課題は多種多様で十分対応できていない。 ・明石市では、市教育委員会が独自に市費SCを中学校に派遣しているが、予算の関係から全校ではない。市費SCも予算を拡充して頂き、全中学校に週1日派遣して頂けるようお願いしたい。
明石市 (政策局SDGs推進室 LGBTQ+/SOGIE施策担当)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の中で利用する機会が多く、待ち時間に目につくことから、駅や電車での広報は有効ではないか。 ・ひとりきりの時間が取れることから、公共のトイレの個室ドアに相談先情報を掲示し、相談先の情報カードを設置するのはどうか。
明石市 (地域共生社会室)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが周囲に助けを求められるような「SOSの出し方教育」の実施(ヤングケアラー支援にも関連) ・SNS相談窓口の開設 ・若年層者の家族向け「自殺リスクへの気づき研修会」の開催 ・「命の大切さ」だけでなく、若年層者の所属団体における年齢に応じた「生きることの促進要因」につながる授業の実施(小学校、中学校、高校、大学等での授業の定例化) ・教職員向けの自殺予防研修会の開催 ・ゲートキーパー養成研修の拡充 ・学校や塾のオンライン授業など、ICTを活用したときに、自殺予防メッセージや相談窓口が自動的に流れるシステム <p>※「明石市自殺対策計画」に記載している取組みを一つずつ段階的に実現することが、何より重要かと思えます。</p>
明石市 (こども局子育て支援室こども健康課)	<ul style="list-style-type: none"> ・局部横断的な相談・支援体制の協力が図れる。
明石市 (教育委員会児童生徒支援課)	<p>情報共有</p>